

・歩きたばこが多いことへの対策強化のお願い

Q. 区は路上に歩きたばこ禁止の注意喚起等をしているが、それにもかかわらず歩きたばこ、火のついたままのたばこを路上もしくは排水溝に捨てる行為を毎日目にする。

外出の度に必ず受動喫煙を強いられ、非喫煙者としては大変、不快に思っている。

また子供に受動喫煙、歩きたばこの接触をいつも注意している。  
このようなことが起こり得る環境を改善していただきたい。

A. 歩行喫煙やポイ捨ての禁止につきましては、本来マナーとして確立していただくことが望ましいと考えており、区では現在、区内全域で喫煙マナーアップを図ることで悪質な歩行喫煙についても減少させることを目指しておりますが、ご指摘のような実態があることを大変残念なことで認識しております。

ご指摘の当該地域におきましては、啓発活動を実施している駅から少し距離があり、巡回範囲から外れる状況にありますが、しばらくの間、巡回指導員を配置することとしました。また、現地を確認の後、歩きタバコ防止のシートや横断幕を設置する他、生活安全パトロールカーでの広報等によるマナーアップの向上を呼び掛けてまいります。

今後につきましても様々な機会を通じて歩行喫煙防止の啓発活動をすすめ、快適で住みよい地域社会の形成に努めてまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(地域振興部地域活動課)